

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月 2日 更新

事務事業名		工業用水道配水施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	水道局	課長名	水野 孝春
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	上下水道課	担当者名	高岡英之、田中良知
	基本事業	40	企業誘致の促進			所属班	管理工務班	(内線)	1157
予算科目		会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方公営企業法、市工業用水道事業給水条例、同施行規則ほか	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : -
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	合志市と菊陽町にまたがるセミコンテックパーク内の事業所等に対し、工業用に使用する水を配水する工業用水道(工場などの事業所用に人体と直接接しない目的で用いる雑用水を供給する水道)の配水施設(配水管等)を維持管理する事業である。 熊本県による内陸型工業団地として整備されたセミコンテックパーク(合志市及び菊陽町)及び隣接して拡張された原水工業団地(菊陽町)の工業用水道の配水施設(配水管等)を適切に維持管理するため、平成10年度から事業を開始した。工業用水道の配水施設(配水管等)は計画的に整備されており、企業等の目的に応じて使用できるように塩素による消毒を行わない工業用水を配水しており、現在7社に供給している。菊陽町と事務委託規約を締結(議決)し、必要に応じ費用負担を協議しながら維持管理及び運営を行っている。
【業務の流れ】	①セミコンテックパーク内の工業用水道配水施設(配水管等)に故障等が生じた場合の修繕対応事務(現状の把握、故障原因の調査、専門業者の手配、改善策の検討、契約事務、業務立会、結果確認・検査等)、②配水区域内の漏水修繕対応事務(水道修繕業者の手配、修繕策の検討、契約事務、施工立会、検査等)、③立地企業の工業用水使用開始等に関する事務
【主な予算費目】	工業用水道事業会計 第1款:工業用水道事業費用 第1項:営業費用 目:原水及び浄水費 全節(委託料、修繕費、動力費)
【意見や要望】	・菊陽町(建設課)から、セミコンテックパーク内(原水地区)の道路付替え計画に伴う協議がなされている。(協議中) ・地震(近隣市)による濁りが発生し、使用事業所から色度及び濁度について確認の依頼があった。(地震発生後、連絡を受けて現状を確認し、臨時水質検査(飲用水)を実施した。濁り改善確認のため、翌日も検査を行い、基準値内であることを確認し工業用水道の濁度数値等を回答した。)
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動) (DO)	25年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
工業用水道の配水施設(配水管等)を適切に維持管理した。セミコンテックパーク内の工業用水道使用開始及び変更等事務を行った。菊陽町(建設課)と、セミコンテックパーク内(原水地区)の道路付替え計画に伴う協議を行った。	工業用水道配水施設(配水管等)の適切な維持管理を行う。セミコンテックパーク内の工業用水道使用開始及び変更等に係る事務を行う。菊陽町(建設課)と、セミコンテックパーク内(原水地区)の道路付替え計画に伴い2回目以降の協議を行う予定である。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 配水施設(配水管等)の点検回数	回
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
工業用水道を利用する事業所	→ ア: 配水施設(配水管等)の延長 km
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
断水することなく安定して使用できる。	→ ア: 配水施設(配水管等)の破損等により断水した件数 件
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠	
配水施設(配水管等)の破損等により断水した件数をみることで、工業用水道を利用する事業所が安定して使用できているかどうかを判断できると考えた。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込
① 活動指標	ア	回	12	12	12	12	12	12	12	12
	イ									
② 対象指標	ア	km	6	6	6	6	6	6	6	6
	イ									
③ 成果指標	ア	件	0	0	1	0	1	1	1	1
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	20	19	1,031	22	1,050	1,050	1,050
		繰入金	千円			146		150	150	150
	一般財源	千円								
(A) 事業費計	千円	20	19	1,177	22	1,200	1,200	1,200	1,200	
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	5	7	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	360	300	410	290	410	410	410	
(B) 人件費計	千円	1,483	1,211	1,655	1,180	1,655	1,655	1,655	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,503	1,230	2,832	1,202	2,855	2,855	2,855	1,200	

事務事業名	工業用水道配水施設維持管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 配水施設(配水管等)に破損等を与える大きな災害等もなく、適切な維持管理を行ったことで目標を達成できた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 配水施設(配水管等)の適切な維持管理に努め、断水を生じさせない補修方法等を検討し実施することで、目標を達成する見込みがある。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 配水施設(配水管等)の機能を保持することで、安定して配水することが成果であり、このこと以上の向上の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業として、セミコンテクノパーク内原水・配水施設維持管理事業があるが、対象が異なるため統廃合はできない。ただし、業務の実施に当たっては連携して取り組んでいる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事業費で維持管理を行っており、削減の余地はない。今後老朽化による劣化が進めば、事業費の増加の可能性がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 必要最小限の人員で、しかも兼務で維持管理に当たっており、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 費用負担を行っている全ての工業用水道使用者に受益機会があり、公平・公正である。ただし、経営状況によっては、市負担を求めることもあるため、経費節減に努める必要がある。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 現時点では市に代わる事業者がいないので、移行できない。将来的には、業務を第三者に委託する方法も考えられるが、先進事例を研究し信頼性が確実となる実績など、さらに検討が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

破損等につながる大きな災害等もなく、適切な維持管理を行うことにより、目標を達成することができた。
--

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後も、原水・配水施設等に係る適切なメンテナンスを施すことにより、安定した良質の用水供給を継続していく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						